

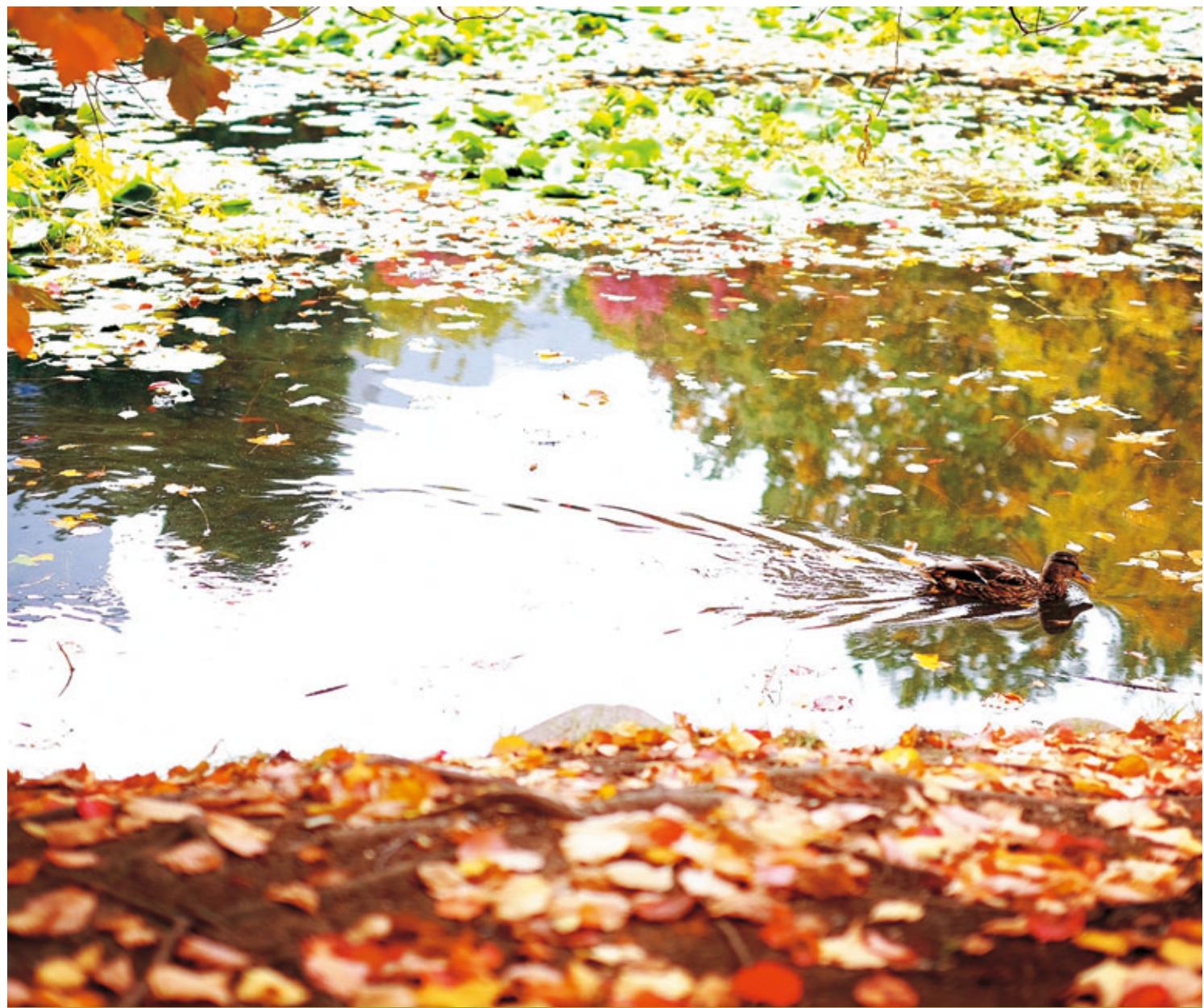
独立行政法人地域医療機能推進機構

JCHO 登別病院通信

Japan
Community
Health care
Organization

発行日 2017年11月

NO2



今月の表紙 撮影者 早坂祐美子

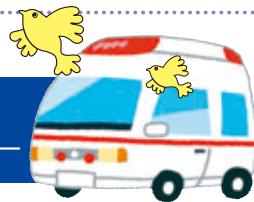
今月号の内容

- 救急隊連絡会の開催
- 天寿会研修会
- 総合医育成について
- 通所リハビリ報告・説明会を終えて
- 地獄まつりに参加して
- JCHO 登別病院のご案内
- 健診のご案内 編集後記





第1回 JCHO 登別病院・救急隊連絡会の開催



整形外科部長・統括診療部長 小澤慶一

寒い季節となりましたが、皆様も元気にお過ごしでしょうか。

8月24日に、救急隊との連絡会議を開催し、50名以上の医療者が集まりました。今まで救急隊と連携し、円滑な救急車の受け入れを心掛けてはおりましたが、より緊密に連携し、登別市・白老町の地域の皆様により安心して来院していただけることを目指し、登別・白老救急隊のメンバー、当院のスタッフで勉強会をやっていくことになりました。

第1回の今回は、「整形外科症例検討会」と題しまして、救急隊から当院に搬送していただいた股関節・手関節の骨折や、脊椎圧迫骨折の患者様を、搬送後、どういう治療をし、退院までリハビリを進めていったかを、症例を提示しながら、整形外科の医師が報告を致しました。

股関節・手関節の骨折に関しては、1日でも早く手術をし、早期にリハビリを開始することが重要であること、また、脊椎圧迫骨折も初期治療が非常に重要であることから、早期のMRI検査による診断、コルセット治療・リハビリが大切であることを説明させていただきました。

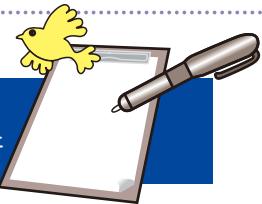
今後は、救急隊員の方に講師になっていたり、また、当院のリハビリスタッフが講師となりリハビリの実際を勉強したりと登別・白老の救急医療に役立てていきたいと考えております。

整形外科救急に関しましては、本年度も365日・24時間年中無休で受け入れをしておりますので、年末年始も安心して当院に御来院ください。



天寿会研修会

地域連携室 佐藤 安行



平成29年8月31日(木)、白老町にある社会福祉法人天寿会（以下、天寿会）で法人研修会が開催されました。天寿会は介護保険法による各種入所・通所施設、障害者自立支援法による入所・通所施設など幅広く運営している法人で、「北海道リハビリテーションセンター」と表現した方がイメージできるかもしれません。当院は厚生年金病院時代の平成22年から法人の協力病院として連携を深めています。

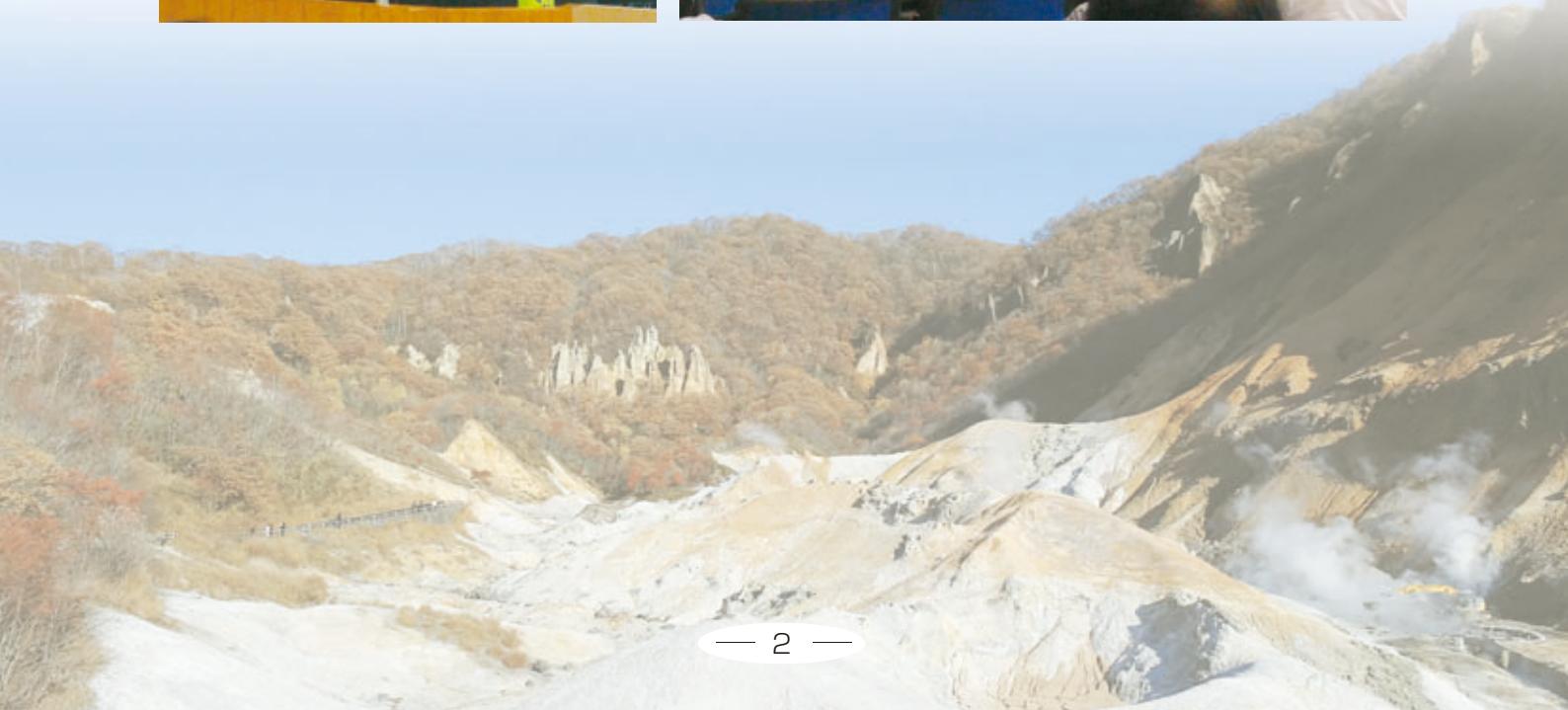
今回の研修会は、天寿会内の施設で利用者様に転倒が散見し、中には骨折に至るケースもあったことから、高齢者の骨や骨折のメカニズム、転倒・骨折予防について学ぼうとの趣旨で開かれたもので天寿会から当院に講師

依頼があり、整形外科・田中宏毅医師が代表して「転倒と骨折」をテーマにお話しさせていただきました。当日は天寿会の職員50人ほどが参加しました。

田中医師は研修会で、高齢者に特有な筋・骨格の衰えや骨折の態様・治療法、骨折を予防するための体操の重要性、施設での転倒を巡って実際に争われた係争事例など丁寧に説明していました。

参加者からは介護手技と骨折の関係性や歩行不安定になりつつある方への歩行補助具の導入時期などの質疑が行われました。

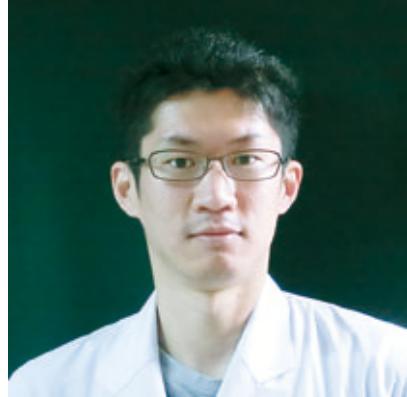
1時間ほどの研修会でしたが、参加者は業務に直結する内容であり、和やかななかにも厳しさを感じ取れる研修会でした。





総合医育成について

副院長 横山 豊治



応援医
小林 正宏

医療の現場では専門医志向が強くなる一方、地域医療の場では、幅の広い診断能力を有する病院総合医が求められるようになってきました。JCHOは地域医療、地域包括ケアの要として地域住民の多様なニーズに応え、地域住民の生活を支えることが使命であることから、他の団体に先駆け、平成29年度から、地域医療に貢献する総合医育成プログラムが開始されています。

総合医は、地域医療の実践病院における病院総合医、医師不足地域で貢献する医師、又は総合診療が可能な開業医などとして、地域医療を実践する能力をもつ医師を育成することが目的です。初期および後期研修を終えた卒後6年目以上の医師が対象となっています。当院では、研修プログラムを作成し、10月～12月の予定で、以前、応援医として当院に来られた呼吸器内科医師が研修を開始

しております。研修内容は主に、内視鏡検査、エコー検査、内科診療、整形外科初期診療などとなっており、患者様にはご協力をお願いする場面もあるかと思われますので宜しくお願ひ致します。

JCHOには全国に57病院があり、急性期医療を提供する病院だけでなく、当院のように地域包括ケアの要となる病院、訪問看護ステーションなどを併設する病院など多様な病院があり、2年間（3年間まで延長可）の研修期間の中で、研修病院・研修期間を組み合わせ、個人のニーズに合ったカリキュラムを作成することが可能となっております。平成32年3月には当院は新病院が完成する予定ですが、内科医の不足が続いている、近い将来、JCHOから晴れて総合医となった医師が派遣されることを期待し、総合医育成にも積極的に関わって行きたいと考えております。

独立行政法人 地域医療機能推進機構

通所リハビリ報告・説明会を終えて

通所リハビリ室 成田可奈



当通所リハビリ「トレイユ」は開設5年目を迎え、さらなる連携強化を目的に8月24日、登別市のケアマネジャーの方々をお迎えし、報告・説明会を開催しました。

当日は、【通所リハビリテーションとは】の説明から「短時間通所リハビリテーショントレイユ」の概要を説明後、利用者様が実際にリハビリを行っている様子をお伝えしました。通所車の乗降の様子、訓練室までの歩行やリハビリ状況、歩行訓練・バランス訓練・書字訓練・言語訓練・頭の運動としての間違い探しや計算問題を動画や写真で報告しました。

また、「トレイユ」では、『レインボー健 康体操』という、頭と身体を使う集団体操を実施しています。この『レインボー健康体操』を利用者様が行っている動画を用いながら、指導者が目的と効果を説明しました。実

際行っている利用者様からは、毎日やってほしいと要望が多くあり、評判が良いことも報告しました。

終了後のアンケートでは、『個々の利用者にあわせた対応が伝わってきた』、『動画が解りやすく実際にこんなことまでやっているんだと思った。もっとたくさんのケアマネジャーに聞いてもらいたかった』等々、とても励みになる声をいただきました。

この声をいただき参加できなかった事業所に対し、当事業所について皆様に広く知っていたいだきたく出前講座も行いました。今後は、白老地域のケアマネジャーの方々に報告・説明会を行う予定です。

これからも、ケアマネジャーの方々と積極的に協力・連携しながら、利用者様がより安全・安心に通所リハビリを利用できるよう取り組んでいきたいと思います。





第54回 登別地獄まつりへの参加について

事務長補佐（総務企画） 平間國男



今年も登別観光協会から参加協力依頼があり、8月26日(土)、27日(日)の2日間に渡り、延べ50人以上の職員が、病院職員有志として参加しました。

異動してきて2年目、昨年参加し肉体的に厳しかったため、今回は見物に回ろうと思っていたはずが、勢いで参加することになりました。

職員数の減少に伴い、参加人数は減っていると聞きますが、なかなかどうして、活気があり、楽しいものでした。

鬼踊り大群舞では、お揃いの法被を羽織り、JCHO登別病院職員が一丸となり、飛び入りの職員、患者さん、周りの観光客も巻き込んで大いに盛り上りました。

初日、副総看護師長に電飾キラキラのプラ

カードを、初めから終わりまで持たせていたのはご愛嬌です。（すいませんでした。）

鬼みこし暴れ練りこみでは、出発前にガソリンを入れて担ぎましたが、最初の威勢だけで長続きせず、特に2日目は前日の疲労感が抜けていないことと、筋肉痛で必死でした。

病院は、2020年4月に新築移転をし、温泉街から少し離れることになりますが、まつりに参加した職員からは地獄まつりへの参加を続けて行きたいと大きな声がありました。

いつまでも地元のまつりに加わり、地域の一部として盛り上がることができればいいと願っています。



JCHO 登別病院のご案内

●外来診療体制

		月	火	水	木	金
整形外科	午前	オザワケイイチ 小澤慶一 タナカヒロキ 田中宏毅	オザワケイイチ 小澤慶一 タナカヒロキ 田中宏毅	ナカヤマケイスケ 中山恵介 タナカヒロキ 田中秀直	オザワケイイチ 小澤慶一 タナカヒロキ 田中秀直	ナカヤマケイスケ 中山恵介 タナカヒロキ 田中秀直
外科	午前			出張医 (予約制)		
内科	午前	ツカハラダイスケ 塙原大輔	ツカハラダイスケ 塙原大輔	ツカハラダイスケ 塙原大輔	ツカハラダイスケ 塙原大輔	ヨコヤマトヨハル 横山豊治
	午後	出張医	出張医	出張医	出張医	出張医
神経内科	午前	出張医(予約制)			出張医(予約制)	
	午後	〃			〃	
ペインクリニック	午前		カマタノリコ 鎌田紀子			
泌尿器科	午前				出張医(予約制)	
					婦人科健診	

※診療体制が変更となる場合があります。その際は院内告知やホームページ上でお知らせします。

●外来診療受付・診療開始時間

	診療受付時間	備考
午前	8時30分～11時30分	9時から(神経内科は9時30分)から診療開始です

※時間外の場合は事前にご連絡をお願いします。

※整形外科は24時間365日の診療体制をとっていますが、土日夜間等は内科系医師が初期対応する場合があります。

●その他の事業

JCHO登別病院附属訪問看護ステーション
〒059-0598 登別市登別温泉町133番地 ☎代表(0143)84-2165

JCHO登別病院附属訪問看護ステーション サテライト事業所
〒059-0464 登別市登別東町4丁目23-4 ☎(0143)84-1983

JCHO登別病院訪問リハビリテーション事業所
〒059-0598 登別市登別温泉町133番地 ☎代表(0143)84-2165

JCHO登別病院短時間通所リハビリテーション事業所トレイユ
〒059-0598 登別市登別温泉町133番地 ☎代表(0143)84-2165

JCHO登別病院附属居宅介護支援センター
〒059-0016 登別市片倉町6丁目9番地1 登別市総合福祉センター しんた21内 ☎(0143)88-2107

地域包括支援センターゆのか(登別市委託事業)
〒059-0016 登別市片倉町6丁目9番地1 登別市総合福祉センター しんた21内 ☎(0143)88-2106

JCHO登別病院
代表お問い合わせ先

電話番号 0143-84-2165 FAX番号 0143-84-3206
(予約等の受付は月～金8時30分～17時15分までです)

メールアドレス main@noboribetsu.jcho.go.jp
ホームページ http://noboribetsu.jcho.go.jp

生活習慣予防の健診は、あなたの健康を守り、明るい家庭生活を築くためにも、定期的に受けることが必要です。

健診コース

- 日帰り人間ドック
- 生活習慣病健診
- 簡易健診【A】
- 簡易健診【B】
- 脳ドック（水曜・木曜）
- 若年健診
- レディース健診（毎月最終木曜）
- 乳がん検診（マンモグラフィ検査のみ）
- 子宮がん検診（細胞診＋エコー検査）

お申込み方法

健康診断は、完全予約制です。
お電話または、当院健診センターまでお越し下さい。

**(自治体の助成対象の健診も受けられます。)
お気軽にご相談下さい。**

幌別方面より当院まで、通院用バスを運行しております。ご希望の方は、ご連絡下さい。詳しい乗車場所、乗車時刻をお知らせいたします。（外来通院の方もご利用いただけます）

予約
受付

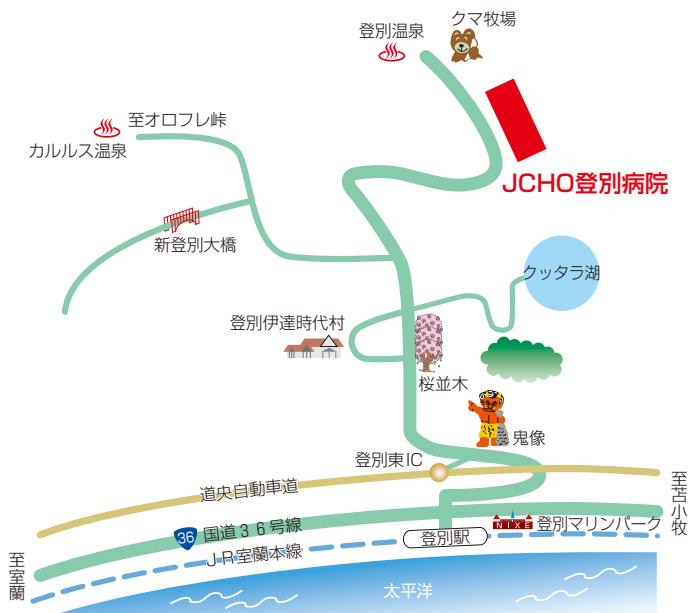
月曜～金曜（祝日を除く）
午後2時～午後5時
☎(0143)84-2165 健診担当

編集後記

誌面を刷新して第二号をお届けいたします。ご覧いただきて、いかがだったでしょうか。
当院は2020年4月1日に移転し、新病院を開院いたします。場所は登別市東町3丁目で、36号線を挟んでマリンパークニクスさんの向かい、あるいはホーマックニコットさんの裏手といえばいいんでしょうか。当院が新たなランドマークになることをめざしてまいります。新病院の開院に向けた準備も着々と進んでおります。ご期待ください。

引き続き皆様のご支援をよろしくお願ひいたします。

(N.T.)



<各交通機関>

- JR登別駅下車（特急列車停車）登別温泉行きバス（病院前下車徒歩2分）
- 札幌－登別温泉高速バス（終点下車徒歩10分）
- 道央自動車道：登別東インターより7分



ジェイコー
JCHO 登別病院

独立行政法人地域医療機能推進機構登別病院

〒059-0598 登別市登別温泉町133番地
TEL(0143)84-2165 FAX(0143)84-3206
<http://noboribetsu.jcho.go.jp>
main@noboribetsu.jcho.go.jp

出版責任者 院長 伊藤美夫
編集長 事務部長 高橋尚幸